

2024
事業案内

《 不断の自己改革へさらなる挑戦 》

“ど真ん中に食と農” 次代につなぐ地域づくり



JAふくしま未来

経営理念

未来への心をつなぐパートナー “農をはぐくみ 地域をつなぐ”

私たちは「農業王国ふくしま」の新たな創造に挑戦します。
くらしの豊かさと安心を追求し、笑顔あふれる地域を未来へつなぎます。
私たちは、みなさま一人ひとりの心をつなぐパートナーの役割を、
誠実・確実に果たしてまいります。

一. ふるさと福島を愛し、豊かな自然、水、光を未来へつなぎます。



一. 創造と挑戦により、多様な農業・文化を次代につなぎます。



一. 豊かなくらしを創るため、協同活動の和をつなぎます。



一. 地域の笑顔をいつまでも、人と人、心と心をつなぎます。



JAふくしま未来の概要 (令和6年2月末現在)

- 名 称 ■ ふくしま未来農業協同組合
- 所在地 ■ 福島県福島市北矢野目字原田東1-1
- 設 立 ■ 平成28年3月1日
- 管 轄 地 ■ 福島市、伊達市、二本松市、本宮市、相馬市、南相馬市、伊達郡川俣町、伊達郡桑折町、伊達郡国見町、相馬郡新地町、安達郡大玉村、相馬郡飯舘村 の12市町村
- 出 資 金 ■ 164億7,022万円
- 組 合 員 ■ 92,837人 (91,961人、876団体)
うち正組合員 45,806人、246団体
准組合員 46,155人、630団体
- 職 員 数 ■ 1,521人
- 事業所数 ■ 支店 47 出張所 1 営農センター 24 農産物直売所 10



みらいろ4兄弟

ホームページ



沿革・あゆみ

- 平成25年3月 福島県北地区JA合併推進協議会設立
- 平成27年9月 合併予備調印式
10月 合併総代会
- 平成28年3月 ふくしま未来農業協同組合発足
4月 JAふくしま未来女性部本部設立総代会
5月 第1回通常総代会
6月 「あんぱ工房みらい」完成
7月 小川集出荷所完成
9月 「JA歯科医院もとみや」開院
11月 吾妻水稻育苗センター完成
- 平成29年2月 「JA秋田おばこ」との友好JA協定締結
「みらいろ女子会」設立
3月 イメージキャラクター「みらいろ4兄弟」誕生
こらんしょ市二本松店リニューアルオープン
4月 山木屋支店営業再開
5月 JA共済優績組合表彰「共済大賞」受賞
第2回通常総代会
7月 「生協コープおおいだ」「エフコープ生協」との友好
協力協定締結
11月 管内12市町村との「地域見守り活動」協定締結
- 平成30年3月 「みらいろポイントカード」サービス開始
4月 大枝支店、白沢支店完成
5月 第3回通常総代会
7月 「東京農業大学」との包括連携協定締結
12月 第10回JAみらいサミット福島開催
- 平成31年・令和元年
3月 JA地域くらし活動支援事業開始
5月 准組合員向け広報誌「みらいろエール」発行開始
第4回通常総代会
6月 「福島大学食農学類」との包括連携協定締結
10月 原町テント倉庫完成
- 令和2年4月 梁川総合支店移転オープン
5月 第5回通常総代会
6月 「産地情報ライブカメラ配信システム」導入
10月 「みらいろホールやながわ」完成
12月 農作物PRチーム「J-FAP」結成
ふくしま未来農業協同組合合併5周年記念式典
第4回ジャパンSDGsアワード受賞
- 令和3年1月 RPAシステム導入
5月 安達地区広域共選場きゅうり選果施設稼働
福島・伊達地区の金融店舗で隔日営業開始
第6回通常総代会
- 令和4年2月 JA広報大賞「総合の部」準大賞受賞
JA全中「農業協同組合表彰規程」に基づく「特別
優良表彰」受賞
4月 「JAふくしま未来花き部会」設立
5月 「JA都市農村交流優良活動事例発表」最優秀賞
受賞
第7回通常総代会
8月 小高園芸団地稼働
- 令和5年1月 日本記念日に「伊達のはんぱ柿の日」登録
「伊達のはんぱ柿」GI認証登録
2月 JA広報大賞「審査員特別賞」受賞
白根支店、小坂支店、小手支店閉店
4月 「JAみなみ信州」との包括連携協定締結
5月 梁川営農センターグランドオープン
第8回通常総代会
7月 日本記念日に「ふくしまの桃の日」登録
9月 そうまントリーエレベーター稼働
11月 原町西支店開所
- 令和6年2月 JA広報大賞「審査員特別賞」受賞
清水支店完成
信陵支店、飯坂東支店、茂庭出張所、福島西支
店、庭坂支店、飯野支店、山木屋出張所、柱沢
支店、富成支店、大田支店、長岡支店、睦合支
店、半田支店、伊達崎支店、新殿出張所、上真野
支店閉店
3月 よりそい大田店、よりそい長岡店、よりそい伊達
崎店オープン
畜産振興センター開所
歯科医院もとみや事業譲渡
5月 「川俣町」との包括連携協定締結
第9回通常総代会
6月 福島南営農センター・資材店開所
「国見町・桑折町」との包括連携協定締結
JA共済優績組合表彰「特別優績表彰」受賞

【主な事業の内容と活動報告】

自己改革実践中!!
“ど真ん中に食と農”
次代につなぐ地域づくり

創造的自己改革

組合員の願いを実現するため、JAが多様な農業・地域の実態に応じて、自らの創意工夫に基づく積極的かつ多彩な事業と組織活動を展開し、地域の農業とくらしになくてはならない組織となることを目指す改革です。

営農指導事業



農業生産者を対象に栽培技術指導や販売・経営に関する相談に応じております。

さらに、農家の担い手や農業法人の育成など産地形成や地域農業の活性化に取り組んでいます。

指導事業は、JAが取り組む様々な事業を有機的に結び付け、事業を利用する方々の満足度を高める土台となっています。

◇農業のさらなる発展・成長のために

JA自己改革の「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けて、「農の達人」による営農指導、担い手渉外・営農指導員による巡回、常勤役員による認定農業者等との意見交換に取り組んでいます。



●農の達人

各地区の中核農家を「農の達人」(9品目・17名)として委嘱。その時期の作業における技術を指導し、生産者の技術向上を目指します。

●「JAふくしま未来版のれん分け方式」の取り組み

各地区に1名ずつ、就農支援担当を配置し、就農相談から定着までの3年間を重点的にサポートしています。
のれん分け方式による研修受入れ先の紹介及び離農する担い手へ農業経営の第三者継承について支援しています。
(令和5年度 研修受入れ先 87名・農業研修者27名)

●農業支援体制

- ・新規就農者支援-担い手育成給付事業
(利用者83名 給付額2,696万円)
- ・農業法人、集落営農組織
- ・認定農業者等担い手と常勤役員による意見交換会の実施



●JGAPの取得促進

～安全な農作物の提供へ～

団体認証2部会 205農場で取得 (692.8ha)
JGAP指導員 191名 内部監査員 186名

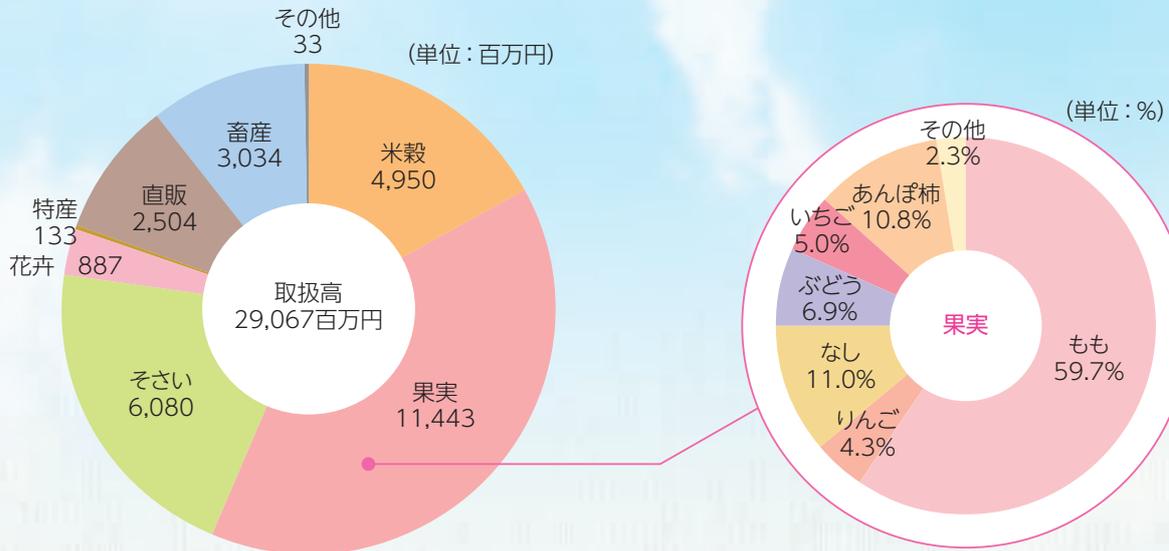
※JGAPとは

食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証のこと。農林水産省が導入を推奨する農作業生産工程管理手法の1つです。第三者機関の審査により認証が与えられます。

販売事業

組合員の皆さまが生産した農畜産物を集めて、卸売市場や量販店などに出荷します。

また、管内にはJA直営の直売所が10ヶ所あり、地産地消や安心安全な農産物供給に貢献しています。



●販売戦略の強化

主要市場による有利販売、直接販売や買取販売等、新たな販売手法・輸出等の販売拡大により、販売単価をさらにアップ。販売品販売高300億円を目指します。

海外については、タイ・マレーシア・インドネシア等に、もも・りんご・なし等の輸出にも取り組んでおります。(令和5年度輸出実績合計31.5t)

また、令和4年1月よりUAE (ドバイ) へあんぽ柿の本格輸出を開始しております。

●地産地消を応援!!



「みらいポイントカード」

会員数79,367名 (令和6年6月末時点)

- ・お得なポイントサービス：200ポイント貯まるとお買物券発行!
- ・JA利用による会員ランク制度：JA事業利用に応じてポイント獲得率がアップ!
- ・協力店 (地産地消応援サポーター)：
会員証提示で得点やサービスが受けられます。

653社 (令和6年6月末現在)



きゅうり・桃・あんぽ柿 記念日

ふくしま夏秋きゅうりの日

7月1日、8月1日、9月1日の3日間

「日本一」の夏秋きゅうりの産地であることや、数字の「1」のようにまっすぐなきゅうりのイメージにちなんで最盛期3カ月の1日としました。



ふくしま桃の日

7月13日、26日、8月8日の3日間

福島県発祥で桃を代表する品種「あかつき」の個体番号が「れ-13」であることから、「ふくしまの桃」が非常に美味しい時期の7月13日を起点として13日周期の3日間としました。



伊達のだんご柿の日

12月13日、1月13日、2月13日の3日間

伊達のだんご柿独自の硫黄燻蒸製法の確立、普及に携わった人が13人だったことや、発祥の地である伊達市梁川町五十沢（いさざわ）にちなんで最盛期3カ月の13日としました。



みらいろテン! 継続強化

「農業者所得 10%UP への挑戦」

「収量アップ」「品質アップ」「コスト削減」



● 担い手渉外(TAC)・営農指導員巡回

● 「農の達人(作物営農技術員)」委嘱(農の達人拡充)

● 1営農センター販売高1億円アップの取り組み

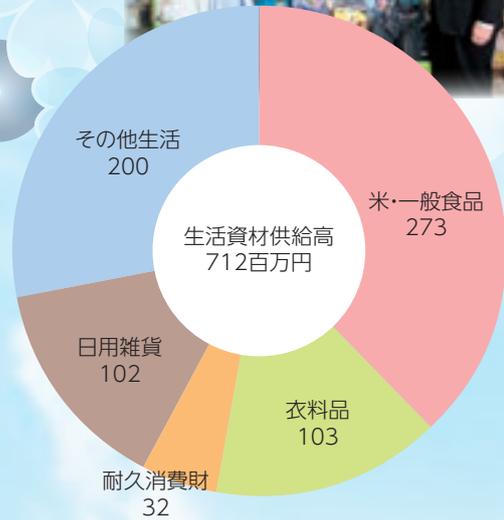
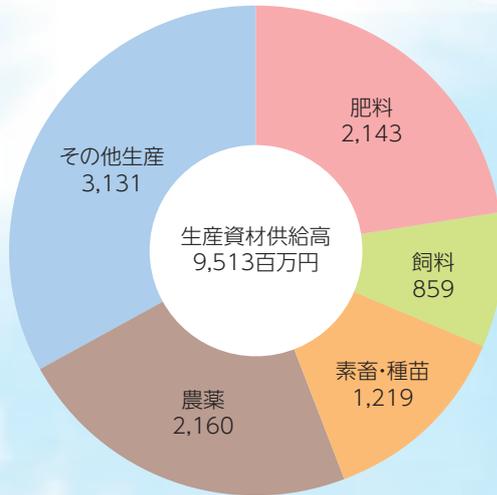
3年後の目標

販売品販売高 目指せ 300億円

購買事業

農産物の生産に必要な資材や生活に必要な物資を共同購入し組合員等へ供給しております。

営農センター・資材店等では、農産物を出荷している農家向けの品物だけでなく、家庭菜園向けの品物や食品・生活用品も取り揃えております。



●生産コストの引き下げを目指して ～スケールメリットの創出～

生産コスト引き下げのため、オリジナル肥料の普及拡大や予約供給拡大といった取り組みを進め、肥料・農薬等重点品目の地域最安値に挑戦します。

JAふくしま未来オリジナル肥料の開発

『みらいろ物語』シリーズ

果樹8品目、野菜3品目、水稻5品目



最安値への挑戦

肥料・農薬地域最安値を目指し、肥料6品目、農薬21品目で取り組みました。

介護事業

組合員・利用者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、ご自宅で提供する訪問介護、ご自宅から通える通所介護、ベッド・車いすを借りられる福祉用具の貸与・販売など様々な介護保険サービスのほか、それらを介護利用者さま・ご家族さまのニーズに合ったサービスの調整をする居宅介護支援などを行っています。

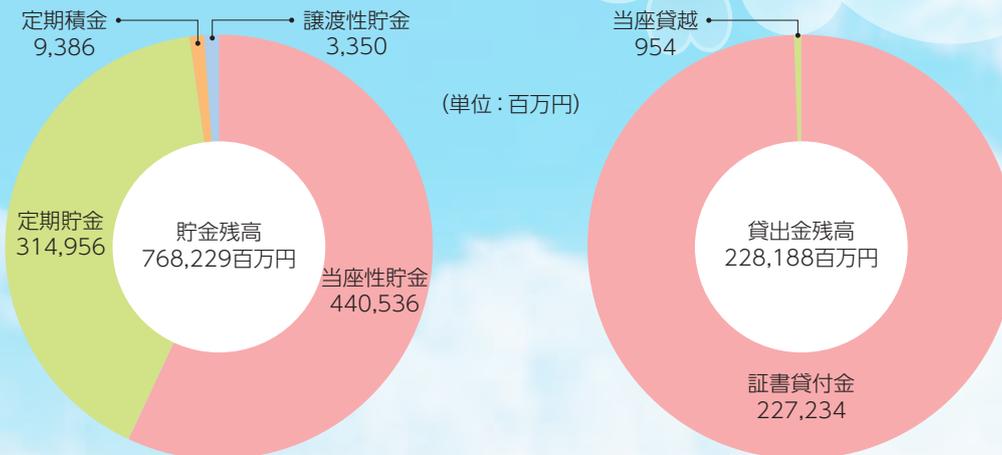


信用事業

貯金・貸出・為替をはじめとする金融サービスを提供しております。
組合員の皆さまなどからお金をお預かりし、それを農業振興や生活向上に必要な資金として融資しています。

JAの信用事業は「JAバンク」として全国のJAと手を携えた「JAバンクシステム」により安全に事業を行っています。

皆様の大切な財産を安心してお預入れいただけます。



当組合は、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していく）を共通理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献に努めております。

農業メインバンク機能の強化

「農業近代化資金」「アグリマイティー資金」「担い手応援ローン」「JA新規就農応援資金」等、農業経営を応援します。

生活メインバンク機能の強化

「住宅ローン」「マイカーローン」「教育ローン」をはじめ、夢の実現を応援します。

国債・投資信託窓口販売

国債（新窓口国債、個人向け国債）及び投資信託の窓口販売の取り扱いをしております。

遺言信託事業（相続、事業継承支援）

世代交代・後継者対策として積極的に展開してまいります。
遺言書作成支援、法務・税務相談

●MA（マネーアドバイザー）

貯金・年金・融資など金融商品に関する専門知識を持ち、地域の方々のお役に立つよう、日々訪問活動を行っています。

金融に関する様々な提案や将来の資産形成のお手伝いをします。

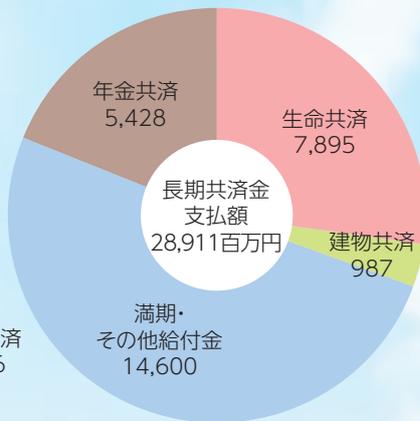
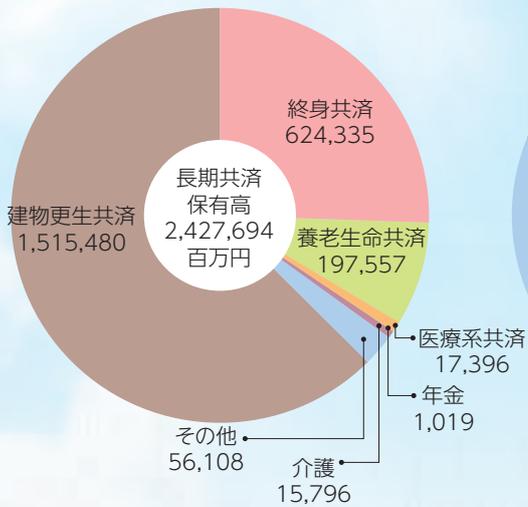
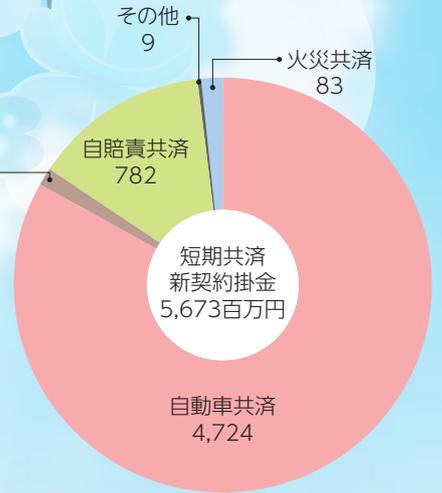


共済事業

相互扶助を事業理念に、「ひと・いえ・くるまの総合保障」を通し、皆さまの暮らしに確かな安心をお届けします。



(単位：百万円)



●スマイルサポーター

窓口におけるJAの「顔」として、組合員・地域の皆さまへ総合保障について相談・提案を行っております。

●LA (ライフアドバイザー)

JA共済について専門知識を持ち、ライフプランに応じた様々なニーズにお応えします。また、ご契約者さまへのフォロー活動・保証見直し活動も行っております。



子会社

JAふくしま未来には、燃料・LPガス、冠婚葬祭、リフォーム、家電、農機等を取り扱う「㈱JAふくしま未来サービス」。種苗・果実・野菜の生産販売や農作業の請負・受託、農業担い手育成・研修、農業労働者の紹介等を取り扱う農業生産法人の「㈱新ふくしまファーム」「みらいアグリサービス(株)」「㈱アグリサービスそうま」の4つの子会社があります。



「地域貢献について」

組合員や地域の皆さまの生活意識・価値観に応え、地域の各組織と連携しながら、多岐にわたり地域社会の活性化に取り組んでおります。

食育教育や高齢者福祉、子育て支援事業などを通じ、「安心して暮らせる住みよい元気な地域づくり」に貢献しております。

また、女性部による「子ども食堂・みんなの食堂」2店舗で月1回開催や、旧店舗を利用した「しらね里山の店」では日用品や食材を週2回販売しております。

食と農業の大切さを学ぶ ～食農教育～

学校教育支援事業

- 花育授業
 - 小学校
- 食育授業
 - 小学校・幼稚園 延べ51校
- 米づくり
 - バケツ稲・圃場 延べ31校
- 野菜苗定植・収穫
 - 小学校・幼稚園 延べ37校
- 小学校へ食農教育資材の贈呈
 - 小学校 延べ120校

親子農業体験イベント

- 「みらいろアグリ塾」
 - 農業体験活動他 延べ72名
- 「サンSUNあぐりスクール」
 - 果物収穫・施設見学 延べ128名



心と体の健康づくり

- ウォーキング大会
- 健康増進活動
 - 農村・地域住民の健康づくりと生活福祉向上
- ふれ愛グループ
 - 介護施設訪問慰問、幼稚園児との交流、1人暮らし高齢者訪問等
- 年金友の会
 - ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、ゴルフ大会



文化活動 ～生きがいくくり・伝統継承～

- アグリカレッジ
 - 4コース 延べ338名
- 女性大学「みらいスクール」
 - 6回開催 延べ276名
- きらり女性大学
 - 5回開催 延べ51名
- レディース講座
 - 4回開催 延べ320名



- 女性部交流大会
 - 延べ408名
- 伝統料理教室、地産地消料理教室、地域の寺子屋



地域くらし活動支援

管内の地域貢献や地域活性化に取り組むグループ団体等の活動（くらしの活動、高齢者支援活動、環境保全活動等）に1団体上限10万円の資金助成を行っております。



情報提供活動

- 広報誌「みらい」の発行
→ 毎月発行の組合員向け広報誌
※ JA広報大賞「審査員特別賞」2年連続受賞
- 准組合員向け「みらいエール」の発行
- コミュニティ誌「ぐ〜がる」の発行
→ 年2回発行の地域住民向けコミュニティ誌
- 支店だよりの発行
→ 各地区の支店・営農センター単位で毎月発行している手書きによる新聞
- ホームページ・LINE・Instagram・Facebookなどによる情報発信
- 「みらいチャンネル」YouTubeによる動画発信



「J-FAP (ジェイファップ)」

「JAふくしま未来農産物PR」という意味の英語「JA Fukushima Mirai Agricultural Public Relations」の頭文字から命名しました。

J-FAP(第4期メンバー12名)は、JAふくしま未来の農産物のPR活動を通じて、生産者や消費者との良い関係づくりを目指していきます。



事業実績

① 主な事業実績の推移

(単位:千円)

項目	令和4年度	令和5年度
貯金等残高	782,909,752	768,229,846
貸出金残高	214,713,018	228,188,720
有価証券残高	29,937,115	36,790,347
長期共済保有高	2,481,760,903	2,427,694,345
短期共済新契約高	5,780,739	5,673,319
購買品供給高	10,280,839	10,225,802
販売品取扱高	27,971,358	29,067,249

販売品取扱高について、飼料用米の直接交付金を米穀単価に換算した場合

(単位:千円)

項目	令和4年度	令和5年度
飼料用米取扱高	3,384,381	3,191,916
販売品取扱総額	31,355,739	32,259,165

貯金等 …組合員や利用者等から受け入れている貯金や定期積金の額

貸出金 …組合員・地方公共団体等への融資額

有価証券 …所有する債券・株式等の額

長期共済 …共済期間が5年以上

短期共済 …共済期間が1年以内

購買品供給高 …肥料・農薬・生活資材等の供給高

販売品取扱高 …果実・野菜・お米等の取扱高

② 収益の推移

(単位:千円)

項目	令和4年度	令和5年度
事業収益	29,577,366	29,502,154
信用事業収益	5,291,893	5,351,064
共済事業収益	5,292,398	5,000,814
農業関連事業収益	17,615,661	17,781,497
生活その他事業収益	1,272,225	1,295,270
営農指導事業収益	105,186	73,507
経常利益	1,613,822	1,254,095
当期剰余金	1,150,428	1,107,239

(注) 1.事業収益は各事業収益の合計額を表しています。

2.当期剰余金は、銀行等の当期利益に相当するものです。

農業関連事業 …販売・購買(生産)・保管・加工・利用・農用地利用・全袋事業

生活その他事業 …購買(生活)・介護福祉・旅行・その他・指導(生活)事業

3 貸借対照表

(単位:千円)

科目	令和4年度	令和5年度	科目	令和4年度	令和5年度
(資産の部)			(負債の部)		
1.信用事業資産	783,676,005	771,881,655	1.信用事業負債	794,658,251	779,969,149
2.共済事業資産	8,924	9,550	2.共済事業負債	3,039,025	3,120,235
3.経済事業資産	6,749,190	5,066,896	3.経済事業負債	2,211,011	1,691,619
4.雑資産	3,544,411	2,983,311	4.雑負債	2,077,192	2,246,824
5.固定資産	22,157,055	21,885,851	5.諸引当金	2,968,178	3,009,347
6.外部出資	36,699,573	36,703,005	6.再評価に係る繰延税金負債	2,439,356	2,435,802
7.繰延税金資産	1,073,615	1,206,203	負債の部合計	807,393,016	792,472,978
			(純資産の部)		
			1.組合員資本	40,570,171	41,373,841
			2.評価・換算差額金	5,945,589	5,889,655
			純資産の部合計	46,515,760	47,263,496
資産の部合計	853,908,777	839,736,474	負債及び純資産の部合計	853,908,777	839,736,474

4 損益計算書

(単位:千円)

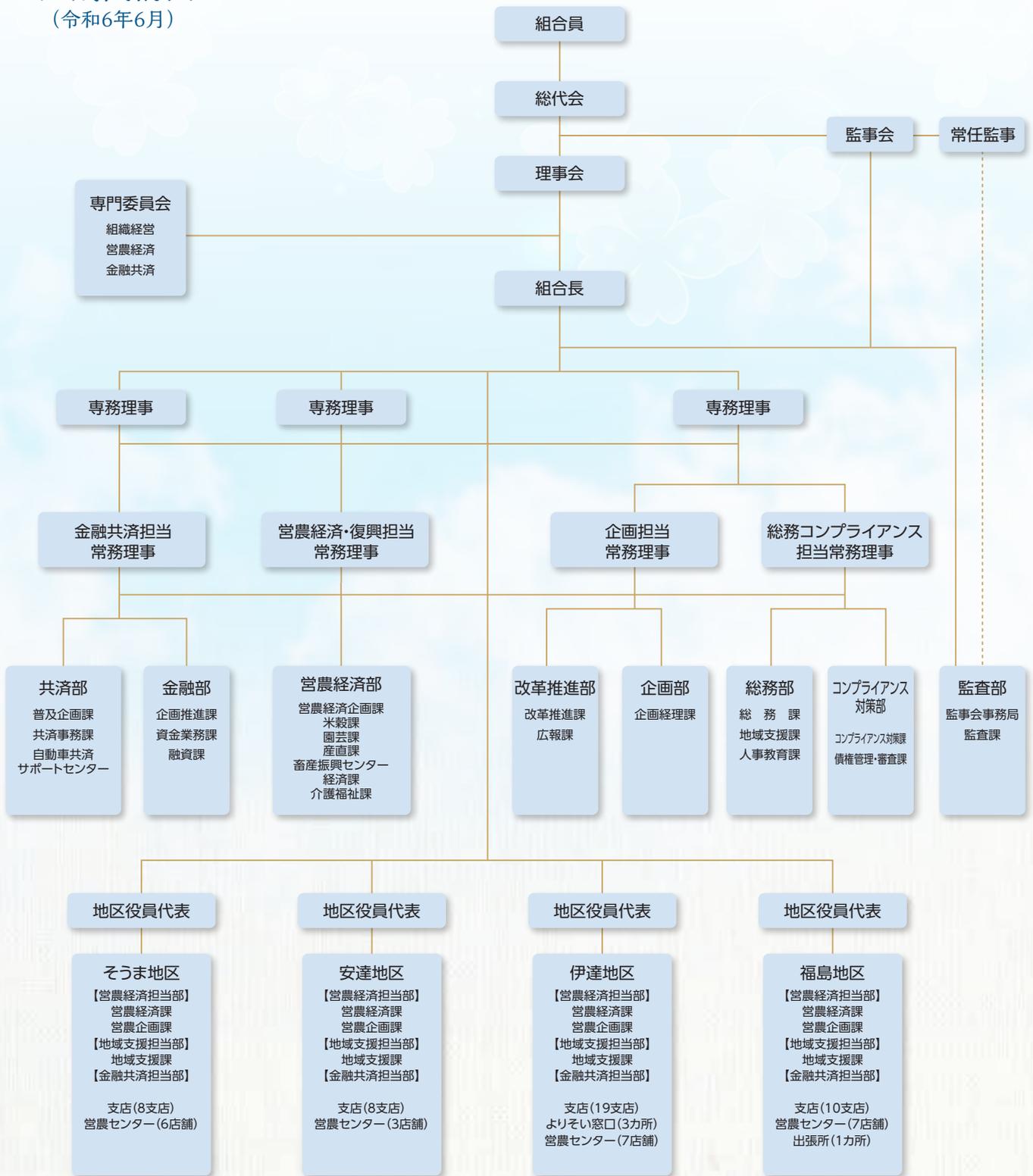
科目	令和4年度	令和5年度
信用事業総利益	4,529,862	4,555,893
共済事業総利益	4,882,149	4,635,276
購買事業総利益	1,488,548	1,558,044
販売事業総利益	2,245,455	2,340,376
保管事業総利益	40,203	48,904
加工事業総利益	914	882
利用事業総利益	273,126	295,350
指導事業総利益	△417,545	△362,042
その他事業総利益	372,885	385,384
事業総利益	13,415,600	13,458,070
事業管理費	12,523,367	12,775,313
事業利益	892,232	682,757
事業外収益	1,000,204	846,378
事業外費用	278,614	275,040
経常利益	1,613,822	1,254,095
特別利益	239,160	4,275,310
特別損失	350,846	4,098,998
税引前当期利益	1,502,137	1,430,407
当期剰余金	1,150,428	1,107,239
当期末処分剰余金	1,911,578	2,114,082

5 自己資本の状況

当JAでは、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでいます。内部留保に努めるとともに、不良債権処理及び業務の効率化等に取り組んだ結果、令和6年2月末における自己資本比率は、13.15%となりました。

組織機構図

(令和6年6月)



農産物直売所 ●こころ矢野目店 ●こころ吾妻店 ●Yショップこころ西店 ●こころ黒岩店 ●こころ清水店
●こころ川俣店 ●みらい百彩館んめ〜べ ●こらんしょ市二本松店
●旬のひろば ●ふれあい旬のひろば

子会社 ●(株)JAふくしま未来サービス ●(株)新ふくしまファーム ●みらいアグリサービス(株)
●(株)アグリサービスそうま

〔 DX・デジタル化・効率化の取り組み 〕

JAふくしま未来では、近年深刻化する労働人口の減少、それに伴う職員数の減少、そして働き方改革が叫ばれる昨今であっても、今までと変わらぬ経営基盤の確立と、組合員・利用者の皆さまに今まで以上に良いサービスを提供するために、デジタル技術を活用したDX化へ取り組んでおります。



2023年には今まで以上に加速するデジタル化に対応していくため、日本全国のJA系統組織と多様なIT企業の参画から成る「JA-DX推進研究会」へ参加しています。毎月Web開催される講演の視聴、参画企業の講習会への参加など、組織全体としてデジタル技術の知見を深め、人材育成や組合員の皆さまへのサービスの向上に活かしております。

業務効率化の取り組みにおいては、共済事務でのRPAの利用拡大により新たに対象業務の処理時間を8割削減することができ、当該システムについては県内他JAにまで利用が波及致しました。

また、本年度も継続して取り組んでおります拠点再編に関連して、減少する支店・職員数を補うために拠点間通信システムの導入により遠隔地の情報共有を迅速化し、従前と変わらないサービスを提供できるよう努めてまいります。

2024年には企画部企画経理課にソリューション係に代わりDX係を設置し、今まで以上に加速するデジタル化の流れに対応し、DX化に向けて取り組んでおります。

本年においてはアナログ的なFAXや電話連絡が主となっている集出荷業務や市況情報の提供等をお手持ちのスマートフォンからお手軽に送信・確認できる仕組みや新たなデジタルサービスを検討し、組合員の皆さまのさらなる利便性の向上と農業経営に対するコスト削減に向け、組織内部での効率化はもとより、組合員の皆さまにより近い現場でのDX化に注力してまいります。

その他の取り組み

- 圃場観測システム（エネルギーハーベスティング）の導入（防霜対策や圃場環境のデータ化・管理）
- 産地情報ライブカメラ（産地情報の見える化）
- 営農指導員タブレットの活用
- 渉外職員使用タブレット（Lablet's）の活用
- JAバンクアプリ（各種お取引内容の照会・申込の各種デジタルサービス）
- JAバンクネットローンや各種手続きのデジタルサービス
- JA共済アプリ（契約内容の照会、相談連絡などの各種デジタルサービス）
- YouTubeを活用した営農指導動画の配信
- RPA・OCRの導入（購買・共済事務作業時間の削減）
- 役員・幹部職員へタブレット計130台を貸与（ペーパーレス会議・情報の共有に活用）
- アンケート等調査をWeb上へ順次移行
- 管内直売所でのキャッシュレス取り扱い店舗拡大



今までの主なDX・デジタル化育成

- 視察研修会の受入（計4団体受入※Web含む）
- JA-DX推進研究会への参加（毎月1回※日本農業新聞主催2023年より）
- JAグループ福島 JA-DX推進プロジェクトへの参加
- 各講習会への参加



JAふくしま未来

ロゴマークは、管内で生産されている農畜産物をイメージ

果実：桃（赤）
穀物：米（黄金）
野菜：きゅうり（緑）
畜産：牛（ピンク）



管内の概要

JAふくしま未来は、福島県北東に位置し、中通り北部の県北地域の3JAと浜通り北部の相双地域の1JAが合併して誕生しました。管内面積は福島県全体の19%ほどで、県北地域には中心地域を南北に縦貫する形で阿武隈川が流れ、その流域に盆地が広がっています。地域内には温泉をはじめ、多くの観光資源を有するとともに、もも、りんご、なし等全国有数の果樹地帯を形成しています。

海に面した相双地域のそうま地区は、太平洋と阿武隈高地に囲まれており気候は温暖で降雪も少なく、快適な居住環境で、平坦部では水稲、山間部では畜産が盛んです。

管内全域で果物・野菜・水稲・畜産がバランス良く生産されています。

